第２回　歴史&ハイキング愛好会

例会実施報告

当番世話人　岩田　芳秀

梅雨明け前とは言え、大型台風８号の襲来を怖れながらの例会開催でしたが、幸い前夜に関東地区を通過し、暑くとも好天の中での例会実施となりました。この第２回例会は、変貌著しい汐留界隈散策と国立演芸場での寄席鑑賞を主眼として、７月 12 日（土）午前 10 時、ＪＲ新橋駅ＳＬ広場に２３名の会員に参加頂きました。参加者確認、コース概要説明、新入会員紹介等の後、散策行程に入りました。

新橋駅を出て５分程、海側に向かって昭和通りを歩くと国指定史跡「旧新橋停車場」があり、ここは、汐留の再開発に際して、鉄道発祥の史跡を目に見える形で後世に残すべく、元の場所に駅舎やプラットホームが原型を模して再建されたものです。駅舎内に鉄道歴史展示室も併設され、富士山と鉄道の企画展も見学。駅舎玄関前で参加者集合写真に納まり、次いで、林立する高層ビル群の一つ、カレッタ汐留スカイビユー（電通本社ビル４６，４７Ｆ）に昇り、汐留地区の変貌と 2020 年のオリンピックに向けて、益々発展の見込まれる晴海、有明地区と東京湾の眺望を楽しみました。　11 時 30 分頃メトロ利用で新橋・乗車、溜池山王・乗換、永田町・下車。徒歩 5 分で国立演芸場に 12 時到着。シルバー入場手続きを済ませ、館内待合所にて、予約した弁当を開演前の時間でゆっくり摂り、12 時 40 分、各々、指定席につき、いよいよ当例会のメーンである落語鑑賞となりました。

国立演芸場 7 月定席公演（中席）、12 時 45 分から前座があり、13 時丁度、開演太鼓で開演となりました。落語、漫談と続き、中入りの後、落語、俗曲があり、当日公演のトリとして、真打、柳亭市馬（落語協会・会長）の登場となりました。演目は、古典落語から「らくだの馬」、主人公は最初から死人で、酔っ払いの変わり目仕草など、真打の大ネタと言われるくらいの演者にとって難題もののようです。さすがと言う演じ振りで皆さん首肯の様子でした。１６時 10 分予定通りに終演。またの機会を約し現地解散となりました。

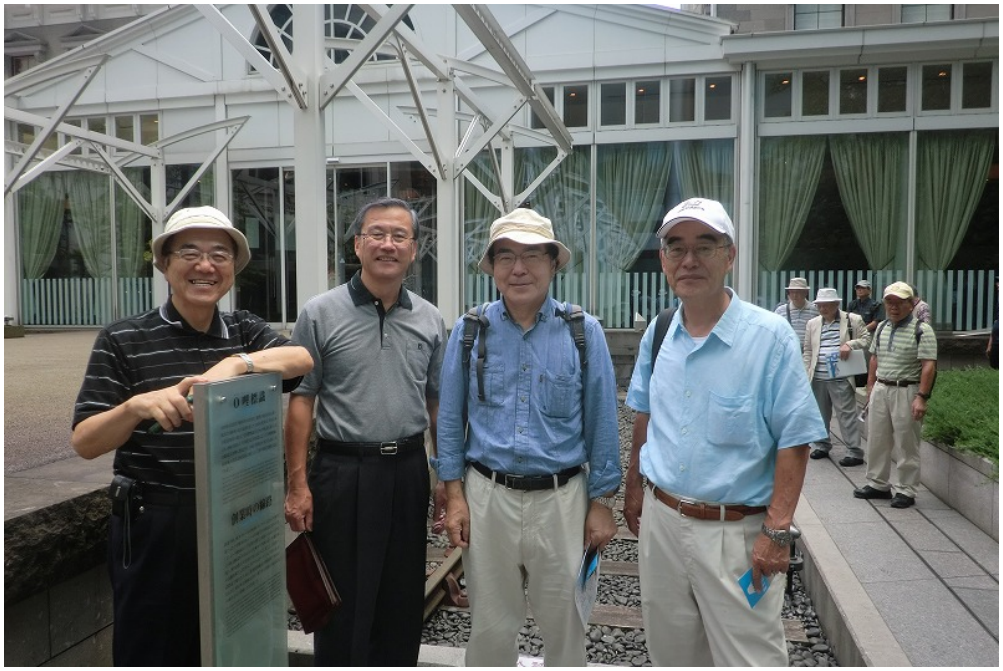
参加会員氏名（敬称略、順不同）　23 名

植野郁夫、宇田川修筰、遠藤哲也、小口健一郎、川股賢三、住田勝治、田代　周、中島公一、南雲玉夫
西長義方、野田　佑、橋本裕一郎、花岡秀男、平木行雄、藤井弘道、古屋榮三、牧田賢二、六角　学、
湯浅尋夫、宮地秀幸、佐々木悟郎、平木七重、岩田芳秀

＊　ＪＲ新橋駅ＳＬ広場で岩田世話人よりコース概要説明

＊鉄道歴史展示室

＊　「０哩標識」‥日本最初の鉄道を新橋、横浜間に建設時の新橋側測量基点前で！
左から入会紹介者平木さんと新入会員の宮地さん、小口さん、湯浅さん



＊ カレッタ汐留スカイビュー４７Ｆからの眺望

＊国立演芸場